



## 関西国際空港 医薬品の航空輸送において保冷ボックス 「va-Q-one43(バキュワン43)」による保冷梱包サービスを開始

関西エアポート株式会社は2019年11月1日（金）より、医薬品の航空輸送において、バキュテック社の保冷ボックス「va-Q-one43（バキュワン43）」による保冷梱包サービスを開始することをお知らせいたします。

関西国際空港では、2010年10月に国内の空港では初となる医薬品専用共同定温庫「KIX-Medica（キックスメディカ）」の運用を開始し、空港内での医薬品保管において完全な温度管理を実施しております。

va-Q-one43は、関西エアポートグループの空港ハンドリング業務を担うCKTS株式会社が導入いたします。同資材にて輸出時に輸出空港で梱包することにより、倉庫内だけでなく、輸送時の温度維持時間を最大限延ばすことができ、より安全な医薬品輸送が可能になります。

関西エアポートグループは、今後も最新技術やサービスを積極的に導入していくことで、事業者が快適で使いやすい空港づくりに努めてまいります。

### 【va-Q-one43（バキュワン43）について】

外装素材	真空断熱パネル（VIP）と相変化材（PCM）を組合せた高性能シングルユース定温輸送ボックス
特徴	使用コストを低く抑えられ、温度管理を必要とする少量の貨物を確実に輸送するのに最適
有効搭載量	43L
外寸（長さ x 幅 x 高さ）	22.6 x 18.3 x 18.9 inch (57.4 x 46.5 x 48.0cm)
内寸（長さ x 幅 x 高さ）	16.5 x 12.6 x 12.6 inch (41.9 x 32.0 x 32.0cm)
設定温度帯	+2～8℃
定温持続時間	96時間以上 *外気温が+5～30℃の場合



### 【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社  
企画・管理部 コーポレート・コミュニケーションズ  
Tel : 072-455-2201

25 80 13  
KIX ITAMI KOBE



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ：[www.kansai-airports.co.jp/](http://www.kansai-airports.co.jp/)をご参照ください。

#### 関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% <sup>1</sup>
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

#### 関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



#### オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界37カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、46空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル、イギリス、スウェーデン、セルビア、カンボジア、日本、アメリカ合衆国、ドミニカ共和国、コスタリカ、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で約250社の航空会社が就航し、2018年の旅客数は2億4,000万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとしての専門知識を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして、空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設事業を行っています。

2018年の連結売上高は16億ユーロ、グループ全体の売上高は36億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

詳細は [www.vinci-airports.com](http://www.vinci-airports.com) をご覧ください。

<sup>1</sup> 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JT、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構